



一般社団法人 日本建設機械施工協会 東北支部 支部たより

とらほく

Winter 2023

Vol.184



令和4年度 除雪講習会開催

続 建設機械の運搬に伴う事故・違反の防止

東北地方整備局における令和4年7月・8月降雨への対応

建設機械施工管理技術検定試験実施状況について

目次

巻頭言 新年のご挨拶	支部長 高橋 弘	1
令和4年度 除雪講習会開催	施工部会	3
ロックボルト専用機が国土技術開発賞 および日本建設機械施工大賞を受賞	古河産機システムズ(株)東北支店 技術顧問 井上 秀秋	5
令和4年度 第2回運営委員会開催		5
特殊工事現場研修会報告 成瀬ダム堤体打設工事	建設部会長 河本 高広	6
安全コーナー 続 建設機械の運搬に伴う事故・違反の防止	建設部会 濱岡 正	8
国土交通省コーナー(1) 東北地方整備局における令和4年7月・8月降雨への対応	東北地方整備局 企画部 施工企画課	10
国土交通省コーナー(2) 令和4年度 東北地方整備局 局長及び事務所長 優良工事表彰		14
建設機械施工技術検定試験実施状況について		16
支部行事・会員情報		17

令和4年度 除雪機械展示・実演会の開催案内

ゆきみらい除雪機械展示・実演会

除雪機械の最先端の技術を披露し、機械の技術革新や除雪事業の仕組みを理解していただくと共に除雪機械の展示・実演と除雪技術を紹介します。

開催日 令和5年2月8日(水) 10:00~15:30

2月9日(木) 10:00~15:00

会場 福島県会津若松市 鶴ヶ城公園 東口駐車場

【表紙写真】 松島湾の夜明け (今年も良いことがありますように!)

撮影地: 宮城県宮城郡利府町 馬の背にて / 撮影者: 関野広光 (東北支部 専門技術員)

新年のご挨拶



東北支部 支部長 高橋 弘
(東北大学大学院 環境科学研究科 教授)

明けましておめでとうございます。旧年中は会員の皆様には大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。本年も宜しく願い申し上げます。ここ数年、コロナに振り回されておりますが、会員の皆様方はお変わりなくお過ごしのことと思います。コロナの感染拡大のため2020年度の東北支部総会は、会員による書面決議を基に、少人数で短時間で開催となりましたが、2021年度および2022年度の支部総会は、例年総会を開催している仙台ガーデンパレスで開催することができました。対面で実施できたのは嬉しいことと感じておりますが、出席者を限定し、特別講演会も懇親会も中止せざるを得ず、まだまだ本来の支部総会とは程遠いと言わざるを得ません。

一方で、昨年は、日本全国で各種イベントが3年ぶりに開催されたというニュースを多く耳にすることができました。コロナの実態が徐々に分かってきて、またワクチン接種も進んできたことが大きな要因と思います。昨年12月に沖縄に出張しましたが、ニュースで那覇マラソンが3年ぶりに開催され、大いに盛り上がったと報道されておりました。このように、コロナと共存しつつ、社会を回していく取り組みが徐々に進んできているようです。さすがに大人数の立食による懇親会は無理でしょうが、1テーブル少人数の着席式の懇親会は所々で開催されるようになりました（それでも1時間もすると、ほぼ立食状態になりますが（笑））。2023年度の支部総会後の懇親会は、できれば上記のような1テーブル少人数の着席式で懇親会を開催できればと強く思っておりますが、これもコロナの状況次第だろうと思います。

2022年は多くの外国人観光客が日本を訪れるようになりましたが、その反面、日本のコロナ新規感染者数が世界一であるというニュースも耳にします。サッカーワールドカップで世界中が熱狂しており、本原稿を執筆している2022年12月12日現在では、ベスト4が出そろったところですが、サッカー放送のテレビに映し出される観客のほとんどがマスクをしておらず、ゴールに熱狂している様子を見ると、日本とは随分と違うと感じざるを得ません。

昨年もコロナに振り回された一年でしたが、それでも会員の皆様のご協力により、支部活動を順調に実施することができました。昨年は一昨年に引き続きE E東北においてインフラDX体験広場（一昨年はi-Construction体験広場）を開催でき、多くの来場者にインフラDXを体験して頂きました。事務局・会員の皆様のご努力により、一昨年よりも賑やかな体験広場になったと喜んでおります。これからも皆様のご協力を宜しくお願いします。建設機械施工管理技術検定試験や除雪講習会も無事終了できたことは嬉しいことであ

り、事務局の方々および会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

ところで、除雪機械展示・実演会は、今年の2月8日、9日に福島県会津若松市で開催予定です。昨年は原稿執筆時点では石川県白山市で開催予定でしたが、開催直前に中止となってしまいました。石川県白山市の関係者は2年にわたり準備されてきたと思いますので、中止には無念の思いであったと想像します。3年目に延期ということではなく、今年は上述しましたように、会津若松市での開催であり、当支部が世話役となります。コロナの状況によらず、できる範囲内のものを実施する予定と聞いておりますので、会員の皆様は是非会場に足を運んで頂けたら幸いです。

また、昨年は現場見学会等も開催できればと考えていましたが、筆者の怠慢により実現できませんでした。今年は事務局と相談して実施の可能性を探っていきたいと思います。

昨年の巻頭言でも書かせて頂きましたが、筆者の研究室では、東京大学の永谷圭司教授がプロジェクトマネージャー（PM）を務めるムーンショットプロジェクト「多様な環境に適応しインフラ構築を革新する協働AIロボット」に課題推進者（PI）として参加し、「バケットおよびブレードによる地盤掘削時の抵抗力を用いた地盤強度推定に関する研究」をテーマに研究開発を進めております。気候変動に起因すると言われる大規模自然災害が多発しておりますが、河道閉塞が生じるような地滑り災害現場において建設機械が地盤を掘削する際の抵抗力（反力）から地盤情報（強度）を推定する技術開発が目的です。昨年は一昨年に引き続き、フィールド試験を行うに当たり支部会員に大変なご協力を頂きました。2023年度は6月～8月頃にステージゲートとして、本テーマに関するデモを実施する予定です。引き続きご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、東北支部では新型コロナウイルス感染防止に最大限留意しつつ、事業を着実に遂行するため努力を重ねています。例年とは勝手が違うためご迷惑をおかけすることがあると思いますが、会員の皆様のご協力を得ながら、今年度の事業を進めて参りたいと考えております。会員各位のご協力をお願い申し上げます。



令和4年度 除雪講習会開催

施工部会

東北支部では例年に引き続き令和4年度も除雪講習会を開催しました。

本除雪講習会は、国土交通省東北地方整備局をはじめ、諸官庁のご指導により道路除雪作業の安全確保・円滑な除雪作業を遂行するための講習会として、道路除雪作業従事者を対象に、除雪工法・除雪作業の安全対策・除雪機械の取り扱い等について習得していただき、除雪作業の効率化と除雪作業の安全対策に寄与するとともに、冬期道路交通の円滑な確保の遂行に資するものです。

受講対象者の詳細は国、県、市町村等が管理する道路の除雪作業に従事する管理者、除雪作業請負業者のオペレータ・現場代理人・施工管理者、除雪機械整備工場等の整備員です。

今年度は申込み者数が3,926名、実受講者総数は3,771名となり、昨年度に引き続き受講者数の記録更新をしました。講習会場数は19会場を確保し、各会場では新型コロナウイルス感染予防のため受講者の着座間隔を空けて講習を実施しました。

また、本除雪講習会は建設系CPD協議会のCPDプログラムとして承認されており、主催者として講習会当日「受講証明書」を各会場で発行しました。

本講習会では「令和4年度 道路除雪の手引き」を講習テキストとして活用し、会場スクリーンに動画を含めたパワーポイント画像を投影し、講習を行いました。

講習会プログラム並びに担当講師等は次のとおりです。

令和4年度 除雪講習会 プログラム

講習内容	時間	講師
あいさつ	10:00~10:05	東北支部事務局
国の除雪の取組について	10:05~10:25	国土交通省講師
県の除雪の取組について	10:25~10:45	各県講師
施工方法と作業のポイント	10:45~12:00	東北支部講師
(昼食休憩)	12:00~13:00	
除雪作業の安全対策 (事故とヒヤリハットの事例)	13:00~13:50	東北支部講師
(休憩)	13:50~14:00	
冬の交通安全	14:00~14:40	警察講師
除雪機械の取り扱い (共通編および各機械編)	14:40~15:55	東北支部講師
閉会および受講証交付	15:55~16:10	東北支部事務局

講習会開催日・開催場所・受講者数は次のとおりです。

令和4年度 除雪講習会実施状況

日時	会場名	講習会場	受講者数
9月21日(水)	会津会場(1)	会津アピオ	162名
9月22日(木)	会津会場(2)	会津アピオ	158名
9月27日(火)	青森会場(1)	青森産業会館	213名

日 時	会場名	講習会場	受講者数
9月28日(水)	青森会場(2)	青森産業会館	209名
9月29日(木)	弘前会場	岩木文化センター (あそべーる)	155名
10月4日(火)	横手会場(1)	秋田ふるさと村	287名
10月5日(水)	横手会場(2)	秋田ふるさと村	280名
10月6日(木)	秋田会場	秋田テルサ	147名
10月11日(火)	山形会場(1)	山形ビッグウイング	186名
10月12日(水)	山形会場(2)	山形ビッグウイング	195名
10月13日(木)	新庄会場(1)	新庄市民プラザ	117名
10月14日(金)	新庄会場(2)	新庄市民プラザ	118名
10月20日(木)	奥州会場(1)	奥州市文化会館 (Zホール)	127名
10月21日(金)	奥州会場(2)	奥州市文化会館 (Zホール)	126名
10月25日(火)	岩手会場(1)	岩手産業文化センター (アピオ)	396名
10月26日(水)	岩手会場(2)	岩手産業文化センター (アピオ)	390名
10月28日(金)	宮古会場	陸中ビル	194名
11月1日(火)	仙台会場(1)	フオレスト仙台	157名
11月2日(水)	仙台会場(2)	フオレスト仙台	154名
合計		19会場	3,771名

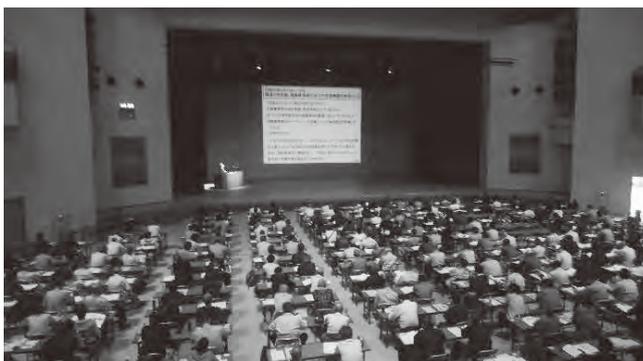
除雪講習会の開催にあたり、ご指導とご協力を賜りました東北地方整備局、東北各県の県庁および県警本部、警察署の皆様には感謝を申し上げ、報告とさせていただきます。



←R 4 除雪講習会テキスト表紙
 クラムシェル式雪庇処理車



青森会場



横手会場



岩手会場

ロックボルト専用機が国土技術開発賞 および日本建設機械施工大賞を受賞 山岳トンネル工事の安全性と生産性の大幅向上に貢献

古河産機システムズ(株)東北支店 技術顧問 井上 秀秋

古河機械金属株式会社のグループの中核事業会社である古河ロックドリル株式会社（社長：荻野 正浩）は、この度、山岳トンネル工事のロックボルト作業において安全性と生産性を大幅に向上したロックボルト専用機が評価され、「第24回 国土技術開発賞」入賞（一般財団法人国土技術研究センター主催）および「令和4年度日本建設機械施工大賞」優秀賞（一般社団法人日本建設機械施工協会主催）をそれぞれ受賞しました。

受賞したのは、山岳トンネル工事で使用する6m継ぎボルト打設装置を搭載したロックボルト専用機「BOLTINGER（ボルティンガー）」（大成建設株式会社と共同開発。2022年8月より販売開始。）です。ロックボルト打設の作業現場となる切羽（トンネル掘削の最先端箇所）において、重量物であるロックボルト（約20kg）を人力挿入する従来の過酷かつ危険な作業を完全機械化し、安全な作業環境を構築したことに加え、省人化と生産性向上を実現したことが高く評価されました。

建設業では高齢化が進み、担い手不足が深刻化しています。また、山岳トンネル工事では事故や災害が後を絶たず、特に切羽で多く発生しています。古河ロックドリルでは、切羽で使用する機械のニーズを捉え、課題を解決する製品を提供することで、山岳トンネル工事の安全性と生産性向上に貢献していきます。

■受賞理由

【安全性向上】切羽近くで行っていた人力によるモルタル注入とロックボルト挿入作業を完全機械化し、安全性を飛躍的に向上させたこと。

【生産性向上】機械化により作業員を5人から2人に省人化し、担い手不足を解消したことに加え、従来型のロックボルト機と比較して施工時間を約50%短縮したこと。

3mボルト2本を運転席からの遠隔操作で継ぐ機能を持たせたロックボルト専用機は、安全性・生産性の向上だけでなく、6mのボルトを正確な位置と方向に打設できる機能も有しています。



6m継ぎボルト打設装置を搭載した
ロックボルト専用機「BOLTINGER」

令和4年度 第2回運営委員会開催

令和4年度 第2回運営委員会は、令和4年12月14日(水)仙台市宮城野区の仙台ガーデンパレスで開催しました。

出席者は高橋弘東北支部長を含め33名でした。

コロナウイルスの感染予防の関係から、座席の間隔を開けて椅子をセットし、マスク着用と両手の消毒を徹底して行いました。

審議議題は①1号議案 令和4年度 上半期事業報告について、②2号議案 令和4年度 上半期事業決算状況についての2件と情報提供として「ゆきみらい2023in会津、E E東北'23」の関係資料について説明がありました。

成瀬ダム堤体打設工事

建設部会長 河本 高広
(前田建設工業株式会社)

1. はじめに

当協会東北支部建設部会では先進的な建設技術を学習するため秋田県東成瀬村にて現在建設中の「成瀬ダム堤体打設工事」において研修会を実施した。

2. 工事概要

工事名 : 成瀬ダム堤体打設工事 (第一期)
工事場所 : 秋田県雄勝郡東成瀬村椿川地内
発注者 : 国土交通省 東北地方整備局
請負者 : 成瀬ダム堤体工事 鹿島・前田・竹中土木特定建設工事共同企業体
工期 : 2018年5月9日～2023年3月20日 (1,675日、約55ヶ月)

3. 主要工事内容

本体基礎掘削工 3,225,940m³ 基礎処理工 L=72,600m (全体98,500m)
段丘材料表土処理工 525,400m³ 段丘材料採取 2,066,000m³
CSG打設 1,742,980m³ (全体 4,305,000m³) コンクリート打設 V=273,990m³ (全体577,000m³)

4. 研修会概要

(1)DXラボ

岩手県一ノ関駅から成瀬ダムまで栗駒山の紅葉を見ながら約2時間移動。秋田県側に入りダム上流側から建設場所に差し掛かると成瀬ダムはダムの約半分の打設が完了している状態であった。事務所にて現場概要説明を受けた後、見学施設「DXラボ」にてコンシェルジュによる成瀬ダムでの自動化施工(クアッドアクセル)の説明(写真-1)、ARパネルによる現場説明(写真-2、3)、未来の建設業への挑戦について説明を受けた。手渡されたタブレットを各所にかざすと説明が始まり、ダムが出来た後の景色をタブレットの中で見る事ができた。

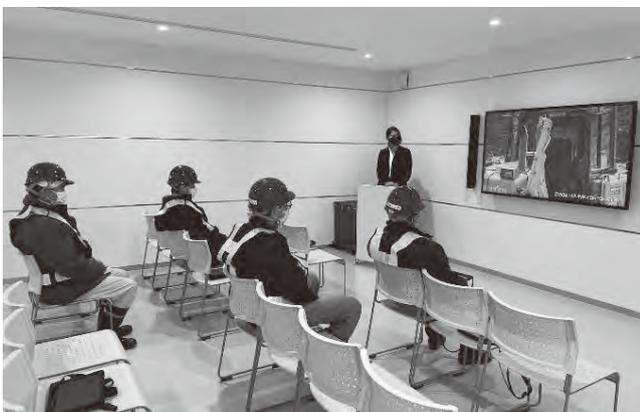


写真-1 自動化施工(クアッドアクセル)の説明



写真-2 ARによる現場説明

(2)CSGダム施工見学

成瀬ダムはCSG(Cemented Sand and Gravel)による現地発生材(土石)とセメント、水を混合して

得られる材料を使用し、環境保全・工期短縮・コスト縮減を図る工法であり、成瀬ダムはCSG工法で世界最大のダムになる。

3基のCSGプラントではMYミキサーによる段丘材、破碎材のドライ混合の後、セメント、水を入れSPミキサーによるウェット混合を行い55tダンプにより打設現場へ直送していた。

CSGの打設は重ダンプによるCSG材の運搬、指示された荷下ろし場所を下ろした後に自動運転のブルドーザー、振動ローラーで盛り立てによる打設を行っていた。(写真-4)。

DXラボ2階の操作室ではクアッドアクセルによる重機の自動運転を数名で監視しているとのこと。

堤体前面の保護コンクリート工を階段状の形状とし、型枠とそのスライド装置を一連とした台車を開発、施工を行っていた。(写真-5)

最盛期を迎える来年度は3基のCSGプラントそれぞれから3系統の土砂運搬設備(ベルトコンベア、SP-TOM)を稼働させ堤体まで土砂運搬を行う予定であり、現地ではその準備が進められていた。(写真-6)。



写真-3 ARパネル

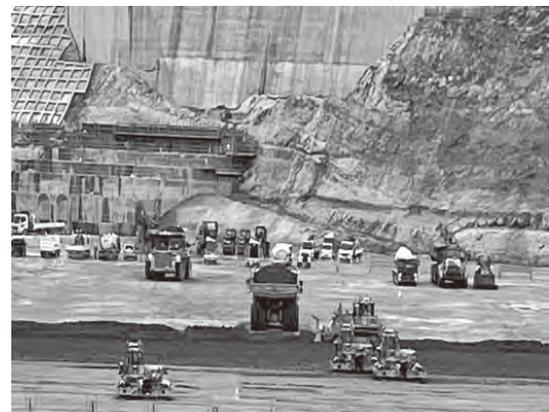


写真-4 クアッドアクセルによるCSG打設状況



写真-5 置き型枠専用リフター おもり台車

5. おわりに

今回成瀬ダムの建設現場をわかりやすい説明とともに見学させていただき、CSGダムの構造や施工工程、自動化による生産性の向上を深く理解でき大変有意義なものとなった。説明及び案内していただいた鹿島JVの皆様がこの場を借りて深く御礼申し上げます。

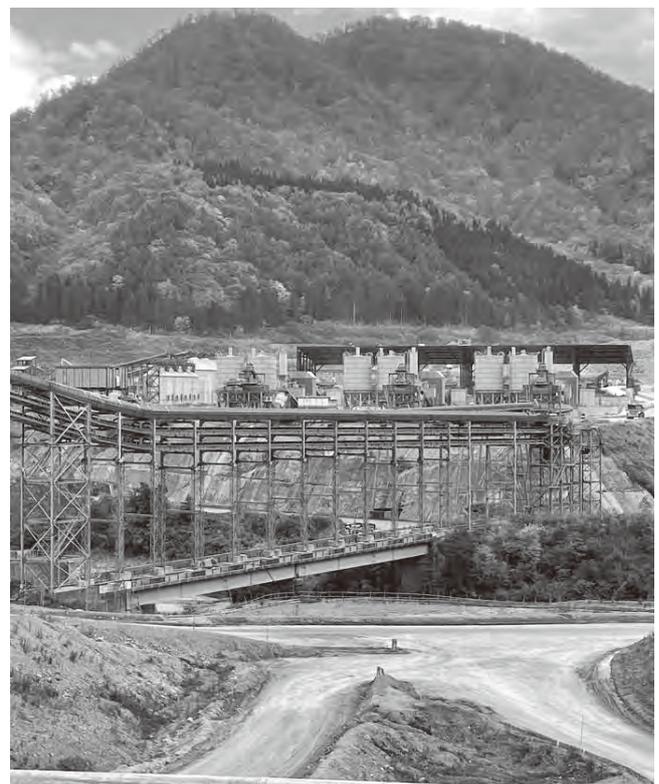


写真-6 現在設置中のベルトコンベア

安全コーナー

続 建設機械の運搬に伴う事故・違反の防止

建設部会 濱岡 正
(青木あすなろ建設(株)東北支店)

本誌176号(2019冬号)の当コーナーで「建設機械の運搬に伴う事故・違反の防止」を掲載させていただきました。しかし、昨年8月に宮城県松島町の東北本線踏切で建設機械を積載したトレーラーが高さ制限のビームを入口、出口とも引っ掛け、支柱が倒れて電柱なども倒れたほか、この電柱が店舗に倒れ窓ガラスが割れ、東北本線は3時間余り運転を見合わせる事態となりました。そこで、今回は、本誌掲載後の状況を書かせていただきました。



(NHKホームページより)

同様の事故は最近ですと、10月に富山県でトラックに積載されていたバックホウが高架橋下の高さ制限ビームを破壊し2週間通行止め、11月には埼玉県内で高架橋下の高さ制限ゲートに箱型荷台のトラックが衝突し、動けなくなりました。最近ではドライブレコーダーの普及に伴い、高さ制限ビームに衝突する動画もネット上で多く見受けられるようになりました。



小柳橋ガード 靖国通り



二葉橋ガード 外堀通り



明神坂ガード 神田明神通り

(JR東日本・警視庁チラシより)

松島町の事故では、報道では運転手は「積み荷が枠にひっかかってしまった」と説明していますが、引っ掛けた高さ制限ビームは路面から4.5mの位置で、今回は被害の無かった2万ボルトの架線は5mの位置にあると推測されます。一般道路の建築限界の高さは4.5m(重要物流道路に指定されていると4.8m)で、今回、特車許可の内容が不明ですが、高さ4.5mのビームを引っ掛けているので、積載した高さは4.5m以上あることになり、事故の発生は必須のものと考えられます。

積載物の幅は測りやすく、積込む際の歩み板の調整、荷台での緊結状況などわかりやすいのですが、高さに関しては土砂等運搬があればダンプの荷台確認として簡易ゲートが設置される場合もありますが、工事関係全車両が場外に通過する個所に設置されている場合は少ないと思われます。

このような事故が起きると、社会生活に与える影響が大きい場合が多く、搬入時であれば重機の損傷により工程への影響も考えられることから、建機の搬入搬出に当たっては高さの確認にも配慮をお願いします。

過積載については、2014年5月の国土交通省「道路の老朽化対策に向けた大型車両の通行の適正化方針」で、「基準の2倍以上の重量超過等悪質な違反者は、現地取締りにおいて違反を確認した場合は即時告発を实

施」が出されました。次の写真はNEXCO東日本の昨年の例ですが、車両制限令の一般的制限値25tに対し55.45tの実測値で、告発されました。この場合は特車許可を得ていた場合でも、車両総重量は45t程度と想定されるので10t程度の過積載と考えられます。



状況写真

(NEXCO東日本ホームページより)

また、移動中のラフテレーンクレーンを見かける機会も多くなりましたが、吊り能力25t以上のものには特車許可が必要となる場合が多くなるので併せて確認しておく必要があります。

大型車の脱輪事故は、平成29年度のホイール・ボルト折損等による大型車の車輪脱落事故発生件数は67件でしたが、国土交通省自動車局が令和4年9月に発表した「令和3年度大型車の車輪脱落事故発生状況と傾向分析」によると、令和3年度は123件となり、前年度の131件より少し減少していますが増加傾向は続いています。

主な傾向としては

- ・37%が東北管内で発生している。
- ・車輪脱着作業後1ヶ月以内に発生した脱落事故が62%を占める
- ・車輪脱落位置の大半(96%)が左後輪であり、3年前と同じ傾向にあります。

推定される要因として

- ・タイヤ脱着作業時の点検未実施により、劣化したホイール・ナットが適切に交換されず、ホイール・ナットが適切に締め付けられていなかった。
- ・タイヤ脱着作業後の増し締めが実施されていなかったため、初期なじみによりホイール・ナットに緩みが発生。
- ・ホイール・ナット締め付け時に、トルクレンチを使用したトルク管理が実施されていなかったため、軸力不足が発生。

等があげられており、東北運輸局の車輪脱落事故の発表では31%がダンプで、タイヤ脱着作業実施者の56%が大型車ユーザーとなっています。適切な部品による適切な作業、一日一回の日常点検、50~100km走行後のしっかり増し締めの実施など、確実なチェックが重要で、ホイールナットマーカ装着車も見られるようになりました。

この原稿を書いている12月19日には北陸・東北南部で記録的な大雪となっており、新潟県内では20kmの渋滞が発生しています。渋滞の先頭には、チェーン未装着のトラック、トレーラーが多く、繰り返し大規模な車両滞留が発生しています。

これらのように、現場での事故ではないものの、一つの工事として見た場合には事故・違反とみなされる事項もあるので、広い目での事故・違反防止の取り組みが必要です。



(東北運輸局ホームページより)

ご安全に！

東北地方整備局における 令和4年7月・8月降雨への対応

東北地方整備局 企画部 施工企画課

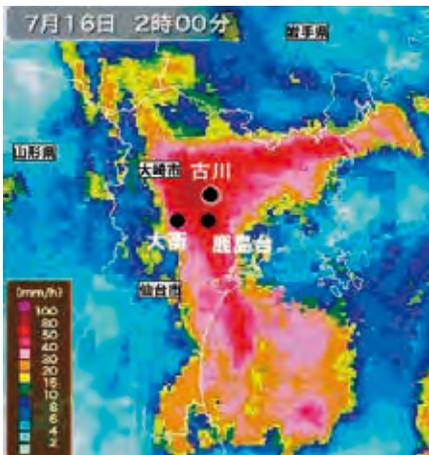
1. はじめに

令和4年7月及び8月、発達した前線の影響で宮城県、青森県、秋田県、山形県では記録的な降雨となり、各地で甚大な災害が立て続けに発生した。東北地方整備局ではその都度、災害対策本部及び災害対策支援本部を設置し対応を行っており、本稿では、災害対策用機械の活動状況を中心に報告するものである。

2. 発災状況

2. 1. 令和4年7月の発災概要

前線の影響により7月15日から、宮城県を中心に非常に激しい降雨となり、東松島市、松島町、大郷町では7月15日から16日にかけて記録的短時間大雨情報が気象庁より発表された。



宮城県雨量レーダー (R4.7.16 2:00)
(日本気象協会HPより)



浸水状況 (宮城県大郷町)

この降雨により直轄河川への大きな被害は確認されなかったが、補助河川のうち宮城県2水系2河川において堤防が決壊 (鳴瀬川水系名蓋川、北上川水系出来川)、岩手県1水系3河川、宮城県4水系14河川において、越水・溢水を確認した。また、宮城県内の国道4号、45号の広範囲で路面冠水や法面崩落等が発生、宮城県大崎市では市道の橋梁が被災した。



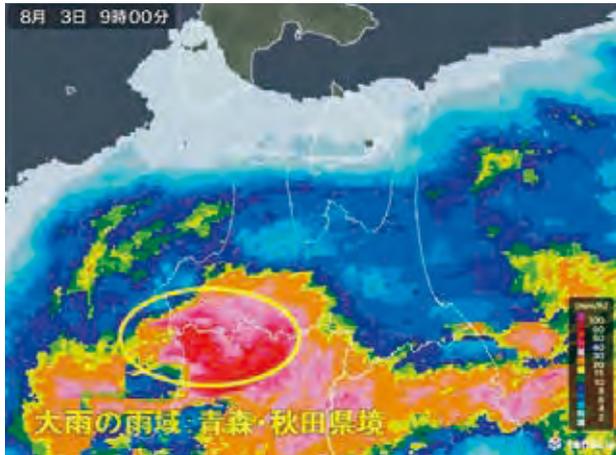
堤防決壊状況 (宮城県美里町)



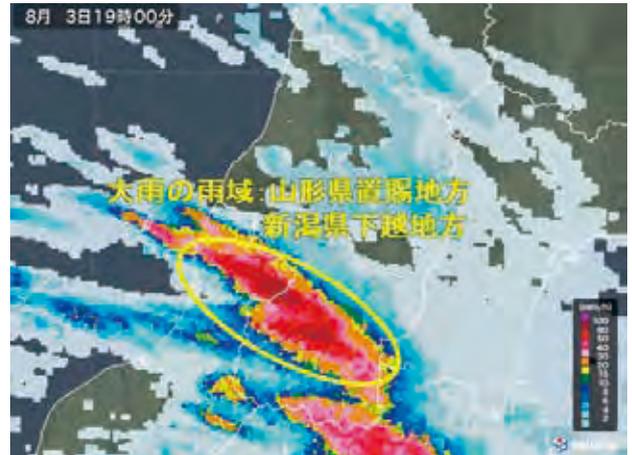
橋梁被災状況 (宮城県大崎市)

2. 2. 令和4年8月の発災概要

前線の影響により、8月3日午前には青森県、秋田県、午後には山形県で複数回にわたる線状降水帯が発生、各地で記録的な降雨となり、山形県の最上川の小出水位観測所では、昭和42年8月（羽越豪雨）水害における最高水位を超え、既往第1位の水位を観測した。

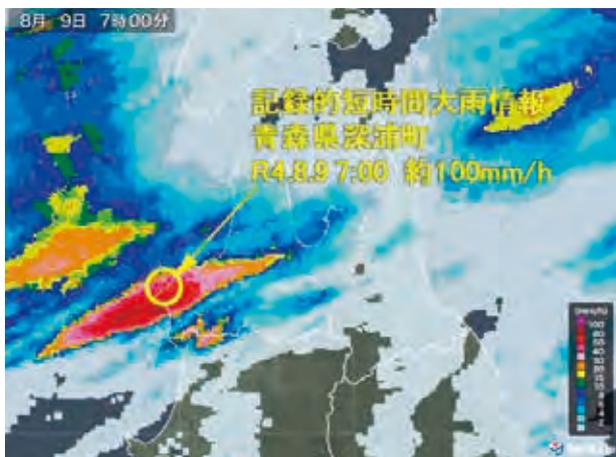


青森県雨量レーダー（R4.8.3 9:00）
（日本気象協会HPより）



山形県雨量レーダー（R4.8.3 19:00）
（日本気象協会HPより）

その後、8月4日から8日にかけて概ね天気は回復したが、9日未明から再び前線が停滞し始め、青森県津軽地方、12日からは秋田県北部において記録的な降雨をもたらした。この降雨により直轄河川や補助河川において、堤防決壊や橋梁の崩壊、堤防越水、溢水等による浸水被害が発生、山形県国道113号で路面崩落等により50時間超の全面通行止め規制を実施するなど、各地に甚大な被害をもたらした。



青森県雨量レーダー（R4.8.9 7:00）
（日本気象協会HPより）



秋田県雨量レーダー（R4.8.13 2:00）
（日本気象協会HPより）



浸水状況（山形県大江町）



浸水状況（秋田県北秋田市）

3. 東北地方整備局の体制

東北地方整備局では、降雨により7月15日18時50分に「注意体制」（後に「非常体制」へ以降）を設置（この体制については8月5日に解除）し、続く8月3日からの降雨及び8月9日からの降雨によって、それぞれ新たな体制を並行して設置し、長期にわたって対応にあたった。

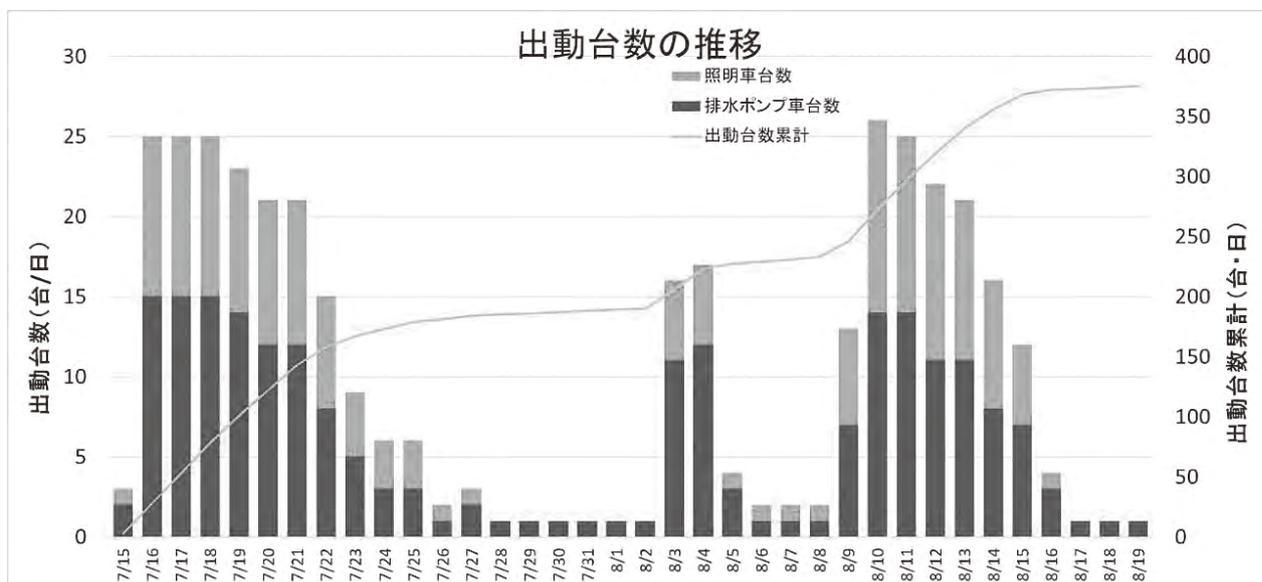


災害対策本部会議の状況

4. 災害対策用機械の活動状況

① 排水ポンプ車、照明車による内水排除

7月15日からの降雨予報により、宮城県大崎市へ排水ポンプ車と照明車を事前配備したのを皮切りに、7月中で累計188台・日の災害対策用機械の出動を記録した。その後も降雨のたびに出動を繰り返すこととなり、1ヶ月もの長期にわたる出動に加え、出動台数が3つのピークを記録する極めて希な災害対応となった。結果、一連の降雨が収束し8月19日に全台が帰還するまで間、出動した災害対策用機械は累計で375台・日に達した。



災害対策用機械の出動台数の推移

また、今後の降雨予報により東北の広範囲での浸水被害が予想されたことから、8月当初に関東地方整備局から排水ポンプ車5台、照明車3台、中部地方整備局から排水ポンプ車5台、照明車5台の応援派遣を受け、山形河川国道事務所へ前進配備した。



宮城県松島町での内水排除状況



他地整から応援派遣された災害対策用機械



内水排除前



内水排除後

内水排除前後写真（山形県川西町）

② 応急組立橋の架設

7月の出水で市道の橋梁が落橋した大崎市に対して、現地調査から対応策の提案等についてTEC-FORCEによる技術支援を行った。その結果、当地整が所有する応急組立橋を大崎市へ貸与し架設することで、市民の生活道路の迅速な確保と早期の生活再建に寄与している。



TEC-FORCEから大崎市長へ調査結果の報告



応急組立橋の架設による生活道路の確保

5. おわりに

東北地方の各地に大きな爪痕を残した今回の災害は、地方公共団体からの要請による災害対応が多く、災害対策用機械の派遣にあたって、現場の状況が十分に把握できない状況下で見切り出動せざるを得ない事態や、情報の錯綜によって現場待機を余儀なくされる等の対応が生じた災害だった。そういった中での昼夜を問わない対応に、使命感を持って対応にあたっていただいた多くの企業の方々、関係者の皆様にはあらためて敬意を表したい。

最後に、今回の大雨により、被災をされた方々にお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復旧、復興を祈念するものである。

令和4年度 東北地方整備局 局長及び事務所長 優良工事表彰

東北地方整備局では建設週間期間中の令和4年7月13日、建設事業功労者37名、優良業務施工者45団体、優良工事施工者66団体、工事成績優秀地域企業11団体、災害対策功労者28団体及び個人16名を国土交通行政関係功労者として表彰すると発表しました。表彰式は令和4年7月20日に仙台国際センターにおいて行われました。

東北支部会員で表彰を受けた会社は下表の通りです。おめでとうございます。

令和4年度 優良工事表彰 支部会員一覧表 (順不同)

会社名	所管事務所	工事名	表彰区分
上北建設(株)	青森河川国道	猪ノ鼻西地区道路改良工事	局長
富士建設(株)	青森河川国道	平川右岸上流地区堤防強化工事	局長
(株)IHインフラ建設東北支店	青森河川国道	国道279号 災害復旧等橋梁工事	局長
(株)IHインフラ建設東北支店	秋田河川国道	国道7号 大砂川橋上部工工事	局長
(株)IHインフラ建設東北支店	成瀬ダム工事	鳴瀬ダム国道付替2号橋上部工工事	局長
ショーボンド建設(株)北東北支店	岩手河川国道	金ヶ崎大橋補修工事	局長
清水建設(株)東北支店	三陸国道	国道45号 新思惟大橋上部工工事	局長
日本道路(株)東北支店	三陸国道	菅窪北地区舗装工事	局長
能美防災(株)東北支社	三陸国道	堀内・久慈長内トンネル消火設備設置工事	局長
(株)小野良組	仙台河川国道	気仙沼北地区道路工事	局長
(株)佐藤工務店	北上川下流	吉田川粕川地区地盤改良工事	局長
(株)高嶋組	湯沢河川国道	雄勝地区改良工事	局長
大森建設(株)	能代河川国道	切石地区道路改良工事	局長
(株)塚本商会	能代河川国道	能代国道維持補修工事	局長
(株)後藤組	山形河川国道	米沢国道東地区維持補修工事	局長
山和建設(株)	山形河川国道	大塚道路改良工事	局長
置賜建設(株)	山形河川国道	菊田構造物工事	局長
升川建設(株)	山形河川国道	最上川上流大久保上流地区河道掘削工事	局長
升川建設(株)	新庄河川	最上川中流横山地区災害復旧工事	局長
日本ロード・メンテナンス(株)福島営業所	福島河川国道	相馬福島道路維持補修工事	局長
(株)小野工業所	磐城国道	南富岡橋補強補修外工事	局長
升川建設(株)	北上川下流	旧北上川左岸藤巻地区護岸工事	事務所長
前田道路(株)東北支店	秋田河川国道	河辺地区道路改良舗装工事	事務所長
日本道路(株)東北支店	成瀬ダム工事	成瀬ダム国道付替椿川地区舗装工事	事務所長
(株)高嶋組	成瀬ダム工事	成瀬ダム施設整備工事	事務所長
國井建設(株)	山形河川国道	大越川橋補修工事	事務所長
國井建設(株)	最上川ダム工事	寒河江ダム貯水池内堆砂土砂撤去工事	事務所長
(株)柿崎工務所	山形河川国道	古口道路改良工事	事務所長
(株)柿崎工務所	新庄河川	最上川中流作の巻地区稼働掘削工事	事務所長
(株)松田組	山形河川国道	大橋地区改良工事	事務所長
小国開発(株)	山形河川国道	米沢国道西地区維持補修工事	事務所長
(株)狩川佐藤組	酒田河川国道	酒田地区舗装修繕工事	事務所長
置賜建設(株)	福島河川国道	保原地区改良工事	事務所長
(株)IHインフラ建設 東北支店	郡山国道	広瀬貝谷地区橋梁上部工工事	事務所長
(株)IHインフラ建設 東北支店	北上川ダム統管	湯田ダム予備ゲート補修工事	事務所長
三立道路(株)	郡山国道	会津坂下地区交差点舗装工事	事務所長
前田道路(株)東北支店	磐城国道	大熊地区外舗装修繕工事	事務所長

令和4年度 東北地方整備局 下請企業事務所長表彰

(順不同)

会社名	所管事務所	工事名	表彰区分
(株)瀧神巧業	湯沢河川国道	雄物川上流大仙地区河川維持工事	事務所長
前田道路(株)古川営業所	山形河川国道	十日町地区道路改良工事	事務所長

令和4年度 災害対策功労者表彰 支部会員一覧表

(順不同)

会社名	所管事務所	工事名	表彰区分
(株)IHIインフラ建設東北支店	青森河川国道	令和3年8月豪雨	局長
(株)山崎組	岩手河川国道	令和3年8月豪雨	局長
日本ロード・メンテナンス(株)仙台営業所	仙台河川国道	令和4年3月国道48号雪崩に伴う、早期の交通解放	局長
東亜道路工業(株)東北支社	秋田河川国道	令和4年3月地震に伴い、大崎市への散水車(給水車)派遣	局長
置賜建設(株)	山形河川国道	令和4年3月地震に伴い、東北自動車道の早期交通解放	局長
日本ロード・メンテナンス(株)福島営業所	郡山国道	令和4年3月地震に伴い、東北自動車道の早期交通解放	局長

令和4年度 東北地方整備局 工事成績優秀企業を認定

東北地方整備局では令和3年4月1日～令和4年3月31日に完成した土木工事のうち、特に優れた工事成績を収めた企業について、令和3年度工事成績優秀企業として認定しました。認定された企業は、新規発注する工事の入札時の総合評価において評価(加点)されるほか、認定ロゴマークを工事現場や名刺に使用することができます。

東北支部会員で認定された会社は、下表のとおりです。おめでとうございます。



令和4年度 工事成績優秀企業 (東北支部会員)

受注者名	平均評定点	本店所在地市町村名
(株)IHIインフラ建設	81	東京都江東区
大森建設(株)	81	秋田県能代市
清水建設(株)	81	東京都中央区
ショーボンド建設(株)	81	東京都中央区
日本道路(株)	81	東京都港区
富士建設(株)	81	青森県弘前市
前田道路(株)	81	東京都品川区
(株)英明工務店	80	秋田県秋田市
(株)小野工業所	80	福島県福島市
(株)小野良組	80	宮城県気仙沼市
(株)佐藤工務店	80	宮城県加美郡
(株)藤本建設	80	青森県青森市
(株)山崎組	80	岩手県盛岡市
置賜建設(株)	80	山形県米沢市
上北建設(株)	80	青森県十和田市
東亜道路工業(株)	80	東京都港区
日建工業(株)	80	宮城県仙台市
菱和建设(株)	80	岩手県盛岡市

建設機械施工技術検定試験実施状況について

【令和4年度1級・2級一次検定及び二次検定試験実施】

令和4年度建設機械施工技術検定は、1級・2級の一次検定試験を令和4年6月19日(日)試験会場は、岩手県滝沢市の岩手産業文化センター（アピオ）で実施しました。

受検者数は1級第一次検定246名、第二次検定（筆記）263名、2級第一次検定の共通615名、第1種65名、第2種515名、第3種19名、第4種63名、2級第二次検定が729名でした。

二次検定試験は令和4年度分1級・2級を令和4年8月25日(木)～8月30日(火)に、宮城県仙台市の西尾レントオール(株)東北テクノヤードを会場として実施しました。受検者数は1級が163人、2級が567人でした。

令和4年度建設機械施工技術検定試験の二級の一次検定試験（第2回）は、令和5年1月15日(日)岩手県滝沢市の岩手産業文化センター（アピオ）で実施予定となります。



第一次検定試験：会場風景



第二次検定試験：会場風景(1)



第二次検定試験：会場風景(2)



第二次検定試験：会場風景(3)



第二次検定試験：会場風景(4)

【令和5年度1級・2級 第一次検定・第二次検定】

令和5年度建設機械施工技術検定は、1級・2級の一次検定・二次検定学科試験が令和5年6月18日(日)に実施されます。

検定試験申込書類等の「受験の手引」について、次の日程で窓口販売及び郵送販売します。

〈販売等日程〉

○窓口販売：令和5年2月1日(水)～3月31日(金)

(一社)日本建設機械施工協会（東北支部）、(一社)青森県建設業協会（本部）、
(一社)山形県建設業協会（本部及び7支部）の窓口で販売します。

○郵送販売：令和4年2月1日(火)～3月17日(水) 電話・FAX受付分まで。

※郵送販売は、J C M A 東北支部のみでの販売となります。

○受検申込：令和5年2月15日(水)～3月31日(金)

〈販売価格等〉

○販売価格：1級1部 850円 / 2級1部 750円で送料は、別途負担をとなります。

支部行事

企画部会

- 第2回 企画部会（書面）
月 日：令和4年12月9日（金）
出席者：木村信悦企画部会長ほか5名
議題：第2回支部運営委員会について
①令和4年度上半期事業報告について
②令和4年度上半期事業決算状況について
③情報提供

- 第2回 支部運営委員会
月 日：令和4年12月14日（水）
場 所：仙台市 ホテル仙台ガーデンパレス
出席者：高橋 弘支部長ほか32名
議題：①令和4年度上半期事業報告について
②令和4年度上半期事業決算状況について
③情報提供

広報部会

- E E 東北'22
月 日：令和4年6月1日（水）～2日（木）
場 所：仙台市 夢メッセみやぎ
来場者：メッセ会場 12,200人、
サテライト会場 1,900人
内 容：メッセ会場 出展者：358社
出展技術：1,040技術
新技術プレゼンテーション：54題
サテライト会場
インフラDX（ICT）体験広場：
出展者：15社

- 第2回 広報部会
月 日：令和4年9月13日（火）
場 所：支部会議室
出席者：浅野公隆広報部会長ほか3名
内 容：①「支部たより184号」の編集計画について
②原稿執筆依頼について
③表紙写真について
④本部機関誌「建設機械施工」令和5年2月号ずいそう原稿執筆者について

- 第1回 E E 東北'23 作業部会（Web）
月 日：令和4年11月16日（水）
出席者：澤田敏樹東北技術事務所副所長ほか14名

- 内 容：①E E 東北'22 決算・監査報告
②E E 東北'23 組織（案）
③E E 東北'23 実施方針（案）
④E E 東北'23 予算（案）

- 第1回 E E 東北'23 実行委員会（Web）
月 日：令和4年11月30日（水）
出席者：中平善伸東北地方整備局 企画部長ほか28名
内 容：①E E 東北'22 決算・監査報告
②E E 東北'23 組織（案）
③E E 東北'23 実施方針（案）
④E E 東北'23 予算（案）

技術部会

- 橋梁架設・大口径岩盤削孔の施工技術と積算、及び建設機械等損料講習会
月 日：令和4年6月13日（月）
場 所：仙台市 ハーネル仙台
受講者：46名
内 容：①大口径岩盤削孔の施工技術と積算
②建設機械等損料の積算
③鋼橋架設の施工技術と積算
④PC橋架設の施工技術と積算

- 令和4年度 第14回 建設技術研修会
月 日：令和4年7月4日（月）
場 所：仙台市 フォレスト仙台
内 容：建設施工技術に関する技術映画
全27本を上映
参加者：81名

施工部会

- 「ゆきみらい 2023in会津」実行委員会（Web会議）
月 日：令和4年6月10日（金）
出席者：東北地方整備局
稲田雅裕局長ほか18名
議題：①実行委員会規約（案）について
②ゆきみらい2023in会津
事業内容（案）について
③実行委員会会計処理要領
・予算（案）について

- 令和4年度 建設機械施工管理技術検定試験
月 日：令和4年6月19日（日）
場 所：滝沢市 岩手産業文化センター
受検者：1級 第一次検定 246名
第二次検定（筆記） 263名
2級 第一次検定 共通 615名、第1種 65名、第2種 515名、

第3種 19名、第4種 63名、
第5種 2名、第6種 14名
2級 第二次検定 729名

■令和4年度 除雪講習委員会

月 日：令和4年7月20日(水)
場 所：東北地方整備局会議室
出 席 者：東北地方整備局 大村敦 道路情報管
理官ほか10名
内 容：令和4年度除雪講習会実施計画につい
て説明し了承を得た

■令和4年度 1・2級建設機械施工管理技術検定
第二次検定(実技)試験の試験監督者打合せ

月 日：令和4年8月24日(水)
場 所：宮城県仙台市 西尾レントオール(株)
東北テクノヤード
出 席 者：阿曾貢貴事務局長ほか22名
内 容：新規試験監督者講習、CMI制作DV
D視聴、実技試験実施要領、出題・採
点基準の説明と打合せ

■令和4年度 1・2級建設機械施工管理技術検定
第二次検定(実技)試験

月 日：令和4年8月25日(木)～30日(火)
場 所：宮城県仙台市 西尾レントオール(株)
東北テクノヤード

受験者数：種別	1級	2級	合計
1種	45	67	112
2種	61	447	508
3種	12	13	25
4種	45	40	85
計	163	567	730

■除雪講習会

①会津(1)会場

月 日：令和4年9月21日(水)
場 所：福島県会津若松市 会津アピオ
受 講 者：162名

②会津(2)会場

月 日：令和4年9月22日(木)
場 所：福島県会津若松市 会津アピオ
受 講 者：158名

③青森(1)会場

月 日：令和4年9月27日(火)
場 所：青森市 青森産業会館
受 講 者：213名

④青森(2)会場

月 日：令和4年9月28日(水)
場 所：青森市 青森産業会館
受 講 者：209名

⑤弘前会場

月 日：令和4年9月29日(木)

場 所：弘前市 岩木文化センター
あそべる

受 講 者：155名

⑥横手(1)会場

月 日：令和4年10月4日(火)
場 所：秋田県横手市 秋田ふるさと村
受 講 者：287名

⑦横手(2)会場

月 日：令和4年10月5日(水)
場 所：秋田県横手市 秋田ふるさと村
受 講 者：280名

⑧秋田会場

月 日：令和4年10月6日(木)
場 所：秋田県秋田市 秋田テルサ
受 講 者：147名

⑨山形(1)会場

月 日：令和4年10月11日(火)
場 所：山形県山形市 山形ビッグウイング
受 講 者：186名

⑩山形(2)会場

月 日：令和4年10月12日(水)
場 所：山形県山形市 山形ビッグウイング
受 講 者：195名

⑪新庄(1)会場

月 日：令和4年10月13日(木)
場 所：山形県新庄市 新庄市民プラザ
受 講 者：117名

⑫新庄(2)会場

月 日：令和4年10月14日(金)
場 所：山形県新庄市 新庄市民プラザ
受 講 者：118名

⑬奥州(1)会場

月 日：令和4年10月20日(木)
場 所：岩手県奥州市 奥州市文化会館
受 講 者：127名

⑭奥州(2)会場

月 日：令和4年10月21日(金)
場 所：岩手県奥州市 奥州市文化会館
受 講 者：126名

⑮岩手(1)会場

月 日：令和4年10月25日(火)
場 所：岩手県滝沢市 岩手産業文化センター
受 講 者：396名

⑯岩手(2)会場

月 日：令和4年10月26日(水)
場 所：岩手県滝沢市 岩手産業文化センター
受 講 者：390名

⑰宮古会場

月 日：令和4年10月28日(金)
場 所：岩手県宮古市 陸中ビル
受 講 者：194名

⑱仙台(1)会場

月 日：令和4年11月1日(火)

場 所：仙台市 フォレスト仙台

受 講 者：157名

⑯仙台(2)会場

月 日：令和4年11月2日(水)

場 所：仙台市 フォレスト仙台

受 講 者：154名

東北建設業協会連合会、J CMA東北
支部

講 師：①東北地方整備局

②各県担当者

③各県の施工者

④JCMA東北支部 情報化施工技術委
員会メンバー

■「ゆきみらい2023in会津」除雪機械展示・実演会
出展者会議

月 日：令和4年12月9日(金)

場 所：福島県 会津若松市勤労青少年ホーム

出 席 者：水口辰夫本部企画部長ほか25名

内 容：①「ゆきみらい2023in 会津」基本計
画について

②除雪機械展示・実演会 実施計画に
ついて

③除雪機械展示・実演会 実施体制に
ついて

①宮城会場

月 日：令和4年8月2日(火)

場 所：仙台市 フォレスト仙台

受 講 者：31名

②秋田会場

月 日：令和4年8月3日(水)

場 所：仙台市 フォレスト仙台

受 講 者：52名

③山形会場

月 日：令和4年8月10日(水)

場 所：山形市 山形ビッグウイング

受 講 者：31名

④岩手会場

月 日：令和4年9月6日(火)

場 所：滝沢市 岩手産業文化センター

受 講 者：30名

⑤青森会場

月 日：令和4年9月7日(水)

場 所：青森市 はまなす会館

受 講 者：36名

⑥福島会場

月 日：令和4年9月8日(木)

場 所：福島市 とうほう・みんなの文化セン
ター

受 講 者：26名

情報化施工技術委員会関係

■令和4年度 i-Construction (ICT活用工事)
セミナー 基礎編 (Webセミナー)

内 容：①ICT導入の必要性

②ICT活用工事の基準類

③3次元出来形管理

④ICT建機施工

⑤3次元データ処理

⑥現地検査

主 催：東北地方整備局、青森県・秋田県・岩
手県・山形県・宮城県・福島県
東北建設業協会連合会、J CMA東北
支部

講 師：JCMA東北支部 情報化施工技術委員
会メンバー

受講者数：令和4年7月28日(木) 25名

令和4年7月29日(金) 12名

■令和4年度 i-Construction (ICT活用工事)
セミナー

内 容：①令和4年度のICT活用工事 東北
地方整備局の取組み

②令和4年度のICT活用工事 県の
取組み

③施工者による事例発表

④ICT活用工事の実践

その1 3次元計測の精度管理

その2 ICT建設機械施工の精度
管理

その3 3次元データの実務的運用
手と活用

主 催：東北地方整備局、青森県・秋田県・岩
手県・山形県・宮城県・福島県

■ICT、UAV (i-Construction) 基礎技術講習会
(主催：東北土木人材育成協議会)

【座学】

- ・東北地方整備局におけるi-Constructionの取り組み
- ・各県・仙台市における取り組み
- ・3次元測量の概要と留意点 (3次元測量の基礎知識、安全対策、事例等)
- ・R3みちのくi-Construction奨励賞紹介
- ・ICT活用工事の監督・検査の留意事項
- ・点群ソフト、3D設計データ
- ・ICT建機
- ・ICT技術の適用 (計測技術の選定)

【実習】

- ・実施工現場での実習

①秋田県会場

〈座学〉

場 所：秋田市 秋田県庁第二庁舎 8階大会
議室

月 日：令和4年9月15日(木)

受 講 者：50名

〈実習〉

場 所：能代地区線形改良工事

月 日：令和4年9月16日(金)

受 講 者：15名

②青森県会場

〈座学〉

月 日：令和4年10月13日(木)

場 所：山形県青森市 青森県観光物産館 ア
スパム

受 講 者：22名

〈実習〉

月 日：令和4年10月14日(金)

場 所：青森県上北郡横浜町 国道279号道路
改良(南BP)工事

受 講 者：13名

③宮城県会場

〈座学 (Web)〉

月 日：令和4年10月6日(木)

受 講 者：51名(申込者数)

〈実習〉

月 日：令和4年10月7日(金)

場 所：宮城県黒川郡大郷町 コマツIoTセ
ンタ東北

受 講 者：20名

④福島県会場

〈座学〉

月 日：令和4年10月20日(木)

場 所：福島県福島市 福島テルサ

受 講 者：29名

〈実習〉

月 日：令和4年10月21日(金)

場 所：福島県郡山市 コマツIoTセンタ福
島

受 講 者：25名

⑤岩手県会場

〈座学〉

月 日：令和4年10月25日(火)

場 所：岩手県滝沢市 岩手産業文化センター

受 講 者：47名

〈実習〉

月 日：令和4年10月26日(水)

場 所：岩手県滝沢市 岩手産業文化センター

受 講 者：40名

⑥山形会場

〈座学〉

月 日：令和4年12月1日(木)

場 所：山形県 村山総合支庁北村山地域振興局

受 講 者：35名

■EE東北'23 サテライト会場に関する打合せ

月 日：令和4年11月28日(金)

場 所：東北地方整備局 会議室

出 席 者：伊藤圭東北地方整備局施工企画課長ほ

か7名

内 容：①EE東北'22の課題について

②EE東北'23の内容：について

③出展社数(予定)について

④予算について

■令和4年度 東北土木技術人材育成協議会 基礎
技術講習会 第2回ワーキング(Web会議)

月 日：令和4年12月19日(月)

出 席 者：東北地方整備局 東北技術事務所 郡
山秀樹総括技術情報管理官ほか21名

議 題：①今年度の講習会実績報告(「土木」、
「ICT・UAV」)

②DXに関する取り組みの検討

③DXに関する取り組み事例の紹介

■情報化施工技術委員会 委員会

月 日：令和4年12月21日(水)

場 所：仙台市 TKP仙台西口ビジネスセン
ター

出 席 者：鈴木勇治 情報化施工技術委員会委員
長ほか22名+Web参加19名

議 題：①勉強会

・UAV飛行ライセンスについて

・民間電子基準点について

・ICT建設機械認定制度、ほか
について

②東北地方整備局からの情報提供

-施工DXチャレンジ2022-

③令和4年度活動報告

④令和5年度活動方針

⑤EE東北'23 サテライト会場開催
について

会員情報

新規入会

○青森リース(株)(2022年9月1日)

代表取締役社長 久保 洋人

〒034-0051 青森県十和田市大字伝法寺字大窪
62-1

TEL 0176-28-3111 FAX 0176-28-2837

○(株)レンタルのニッケン北日本支社

(2022年12月1日)

支社長 五十嵐 正行

〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡

3-4-1

アゼリアヒルズ5F

TEL 022-349-5262 FAX 022-296-7172

会員名称変更

- 建装工業(株)東北支店** (2022年7月1日)
建装工業(株)東北支店
取締役支店長 阿曾沼 博人
〒981-3121 宮城県仙台市泉区上谷刈1-1-2
TEL 022-371-3030 FAX 022-371-3033

代表者変更

- 升川建設(株)** (2022年8月24日)
代表取締役社長 升川 大和
(旧 代表取締役 升川 修)
- (株)大和エンジニアリング仙台営業所**
(2022年9月1日)
仙台営業所長 渡邊 陽一
(旧 仙台営業所長 舞田 哲郎)

- 青木あすなろ建設(株)東北支店** (2022年10月1日)
支店長 榎本 雅哉
(旧 執行役員 東北支店長 沖 二郎)
- 日本キャタピラー(同)** (2022年11月1日)
北東北地区 兼 南東北地区
営業本部長 永谷 哲也
(旧 営業本部長 菅原 正人)

住所変更

- (株)PEO建機教習センター** (2022年11月18日)
〒340-0004 埼玉県草加市弁天5-33-25
埼玉教習所内2階 ICT推進G
TEL 048-931-0121 FAX 048-931-8482

【山田仁一・山崎 晃 氏 退職】

会員の皆様におかれましてはますますご壮健のことと存じ上げます。

さて、当支部事務局に永年多大な貢献をしていただいた山田仁一・山崎晃両氏におかれましては、令和4年9月30日を以て退職されました。

山田さんは事務局長として平成22年4月1日から事務局長として、平成26年6月30日からは参与として、また山崎さんは参与として平成21年10月1日から務めていただきました。

両氏におかれましては建設機械施工管理技術検定、災害対策支援、除雪講習会等多様な業務を迅速に処理、指導され支部を支えていただきました。

本当に長い間ご苦勞様でした。令和4年11月22日に長年の功績を労い送別会を開催しました。



支部たより 184号

令和5年1月20日発行

発行 (一社)日本建設機械施工協会東北支部

〒980-0014 仙台市青葉区本町3-4-18 太陽生命仙台本町ビル5F

TEL 022-222-3915 FAX 022-222-3583

ホームページアドレス <http://www.jcmanet.or.jp/tohoku/>

メールアドレス jcma-futukamati@mbr.nifty.com



編集後記

新春の候、協会員の皆様におかれましてはますますご壮健のことと存じ上げます。

年末年始は皆様いかがお過ごしでしたでしょうか。

昨年10月頃に落ち着きを見せていた新型コロナウイルスですが、11月より再度感染が拡大し、『第8波』に突入、年末年始に向けて感染拡大となったことで帰省や旅行を取りやめた方もいらしたのではないのでしょうか。

悶々とした日々が続いておりますが、昨年11月20日～12月18日にカタールで開催されたサッカーワールドカップにおいて、日本代表は予選リーグで優勝経験国を相手に逆転勝利の快進撃を見せ、興奮と感動を与えてくれました。今年もいくつかのスポーツで世界大会が開催される予定ですが、中でもラグビーワールドカップとWBC（ワールド・ベースボール・クラシック）を楽しみにしております。近年の日本ラグビーは強豪国と同等に戦えるまでレベルが上がっており、野球においては2度の世界一を経験しているとあって、再び日本中が盛り上がり、明るい話題が増えることを願っております。

これから益々寒さが厳しくなって参ります。会員皆様におかれましては新年度で何かと御多忙かと存じますが、体調を崩されませんようご自愛下さい。

会員皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げますと共に本年も引き続きJCMA東北支部への変わらぬご厚誼のほど、よろしくお願い申し上げます。

最後となりましたが、「支部たより184号」の発行にあたり、原稿執筆いただきました方々に厚く御礼申し上げます。

(広報部会 小室 利貴 (株)電業社機械製作所東北支店)